

【基本目標】 2 健康・福祉・子育て・高齢者支援・教育

① 健康・福祉・子育て・高齢者支援の充実

(1) 高鍋町社会福祉協議会との連携推進



現状と課題

現 状

1 総合相談支援センターの連携体制

障がい者（児）等基幹相談支援センターや各種相談機関を集約した総合相談支援センター「架け橋」を町庁舎内に設置しています。担当者間の情報共有が円滑に行われ、町民への案内や支援につなげる体制が整い、迅速で密な連携が図られています。

2 権利擁護体制の充実

令和3年4月に児湯5町1村でこゆ成年後見支援センターが開設され、権利擁護の取組が着実に進展しています。令和7年度には有資格者が1名増員され、支援体制が一層強化されました。

3 居住支援体制の整備

住宅確保が難しい方の入居支援を進めるため、町では新たに居住支援協議会を設立しました。高鍋町社会福祉協議会は居住支援法人として指定を受け、町と連携しながら賃貸住宅等への入居促進に取り組んでいます。

課 題

1 情報共有と周知不足

社会福祉協議会本所や健康づくりセンターなど、事務所が離れた機関との情報連携が十分でなく、また「架け橋」や高鍋町社会福祉協議会の活動内容が町民に広く認知されていない現状があります。

2 法人後見の受任増加と担い手不足

権利擁護への理解が広がり、後見を必要とする人が増加しています。一方で受任者の確保が追いつかず、高鍋町社会福祉協議会の法人後見受任件数は50件を超え、現在の人員体制では対応が難しい状況となっています。

3 住まい支援の連携強化

入居前から退去・死亡時までの支援について、町や社会福祉協議会、不動産業者など関係機関が連携し、共通理解のもとでノウハウと業務フローを確立していく必要があります。

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
第2次高鍋町地域福祉計画	令和4年度	令和8年度
高鍋町重層的支援体制整備事業実施計画	令和8年度	令和8年度

4年後に目指す姿

地域福祉を支える社会福祉協議会との連携を強化し、地域住民が支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉のまちを実現します。行政・社協・地域団体が協働して、福祉ニーズを的確に把握し、困りごとを早期に支援できる包括的な体制の構築を目指します。

取り組み	指 標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 総合相談支援センター「架け橋」の充実支援 令和8年度に開設予定のこども家庭センターでは、町と社会福祉協議会が個人台帳を共有できるシステムを導入し、連携を強化します。併せて、社会福祉協議会の取組を町が広報することで、必要な支援をより多くの人に届けます。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	指標名(単位) 共有システムの導入 未導入 導入	
2 こゆ成年後見支援センターの充実支援 センター職員を継続的に確保するため、各種事業の活用や委託料の確保に努めます。また、市民後見人の養成を推進するため、養成制度の周知や広報をセンターと町が連携して行い、支援体制の充実を図ります。 主な事業： 成年後見制度利用促進体制整備推進事業	高鍋町の市民後見人の数 (人) 1 3	
3 住宅確保要配慮者の居住支援の推進 町は、居住支援協議会を運営し、社会福祉協議会が居住支援法人として行う住宅確保や生活支援の取組を連携・支援し、安心して暮らせる地域体制を整えます。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	居住支援協議会の 開催回数(累計) (回) - 4回以上	

(2) 健康・福祉・医療の充実支援



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 健幸都市づくりの推進</p> <p>本町は歩道整備率や日常生活サービスの徒歩圏充足率が全国平均を上回り、歩きやすい生活環境が整っています。</p>	<p>1 運動習慣の定着不足</p> <p>自家用車中心の生活で歩行機会が少なく、日常的な身体活動量が十分とはいえません。</p>
<p>2 健康づくりの推進</p> <p>生活習慣病の予防や健康寿命の延伸に資する健康づくり施策として、生活習慣病予防・健康講座・運動教室や特定健診、がん検診などを幅広く実施しています。</p>	<p>2 健診・検診の受診率の低迷</p> <p>特定健診やがん検診の受診率が低く、早期発見・早期治療につながりにくいことが課題です。</p>
<p>3 予防接種体制の整備</p> <p>定期予防接種や高齢者インフルエンザ予防接種など、年齢に応じた接種機会が確保され、感染症予防に寄与しています。</p>	<p>3 予防接種の受診促進</p> <p>一部世代や転入者に接種に関する情報が十分に行き届かない場合があるため、対象者への案内方法や接種の必要性の周知が課題です。</p>
<p>4 健幸アンバサダーの育成</p> <p>地域住民が主体的に健康づくりを進めるため、健幸アンバサダーを養成し、各地域で活動を展開しています。</p>	<p>4 健康づくり活動の参加層の拡大</p> <p>講座やイベントの参加者が概ね固定化しており、参加層の広がりが課題です。</p>
<p>5 医療・介護・福祉の連携推進</p> <p>医療・介護・福祉機関が連携し、切れ目ない支援に取り組む体制が整いつつあります。</p>	<p>5 地域医療連携の充実</p> <p>医療・介護・福祉間の情報共有が十分でなく、支援の切れ目をなくす体制整備が必要です。</p>

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町健康づくり・食育推進計画	令和4年度	令和8年度
第10次高鍋町老人保健福祉計画	令和6年度	令和8年度
第9期高鍋町介護保険事業計画	令和6年度	令和8年度
第2期高鍋町自殺対策計画	令和6年度	令和10年度
第3期高鍋町国民健康保険保健事業実施計画	令和6年度	令和11年度
第4期高鍋町国民健康保険特定健康診査等実施計画	令和6年度	令和11年度

4年後に目指す姿

町民が生涯にわたり健康で安心して暮らせるよう、主体的な健康づくりや疾病予防を推進します。健診受診率や予防接種率の向上を図り、地域全体で健康管理を支える仕組みを整えます。医療・福祉の連携を強化し、誰もが健やかに暮らせるまちを目指します。

取り組み	指 標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 スマートウェルネスシティの推進 ICTを活用して、歩く・交流する・健康的な活動等を見える化し、無関心層の行動変容や、活動の継続を促します。 主な事業： たかなべ健康チャレンジ事業	たかなべ健康チャレンジ事業（後継事業）参加者数（人） 243	1,000
2 健康づくりと予防の推進 特定健診・がん検診の受診促進や生活習慣病予防の取組を拡充し、健康寿命の延伸と疾病の重症化防止を図ります。 主な事業： 健康増進事業	特定健診受診率（%） 42.5	47.5
3 予防接種・感染症対策の推進 定期接種の確実な実施と啓発を行い、子どもや高齢者を感染症から守る安全な医療環境を整えます。 主な事業： 感染症対策事業	予防接種接種者数（名） 7,704	8,000
4 健幸アンバサダー養成事業の充実 地域住民が自主的に健康づくりを推進できるよう、健幸アンバサダーの養成と活動支援を強化します。 主な事業： 健幸アンバサダー事業、たかなべ健康チャレンジ事業	健幸アンバサダー認定者数（人） 159	200
5 医療・福祉連携体制の強化 介護・医療・福祉の連携を推進し、切れ目ない支援体制を整備します。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	多機関連携事例（医療・福祉・介護）数（件） 40	70

(3) 子育て支援



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 妊娠期からの支援体制</p> <p>母子保健事業として保健師等の訪問指導や乳幼児健診などを実施し、妊娠期から就学前まで継続的に支援しています。</p>	<p>1 支援継続と情報共有</p> <p>相談支援窓口が複数に分かれており、支援を必要とする方にとって分かりにくくなっています。相談内容と窓口に関する情報提供を充実させ、各担当機関は今後更なる連携が求められます。</p>
<p>2 家庭教育と健診の充実</p> <p>乳幼児健康診査を実施し、発達段階に応じた支援を行っています。家庭教育講座を通じ、保護者の学びを支援し、家庭と地域が協働して子どもの成長を支えています。</p>	<p>2 家庭教育参加</p> <p>家庭教育の重要性への理解が十分でなく、参加率にばらつきがあります。家庭の教育力向上と周知の徹底が課題です。</p>
<p>3 教育・保育環境の整備</p> <p>教育・保育施設の整備と保育士確保支援を進めています。共働き家庭を中心に利用が増えており、量と質の両面での充実を図りながらニーズに対応しています。</p>	<p>3 保育人材と施設整備</p> <p>保育士の確保・育成が課題であり、保育の質向上や施設の老朽化対応、多様なニーズへの柔軟な対応が必要です。</p>
<p>4 経済的負担の軽減施策</p> <p>高校生までの医療費無償化や中学校給食費の無償化、第2子保育料無償化などを実施し、子育て世帯の負担軽減を図っています。安心して子どもを育てられる環境が整いつつあります。</p>	<p>4 経済的支援の持続性</p> <p>物価上昇や教育費の増加により、既存の支援制度だけでは不十分です。公平で持続可能な支援制度の構築が課題です。</p>
<p>5 婚活支援と地域連携</p> <p>少子化対策の一環として、県が主催する婚活イベントの周知に協力しています。町民や企業、団体が協力し、結婚や子育てを応援する機運が高まり、地域の支え合い意識が広がっています。</p>	<p>5 結婚・子育て意識醸成</p> <p>婚姻率や出生率の低下が続いており、若い世代が結婚や出産に希望を持てる社会的環境づくりと、地域の理解促進が必要です。</p>

関連する個別計画等

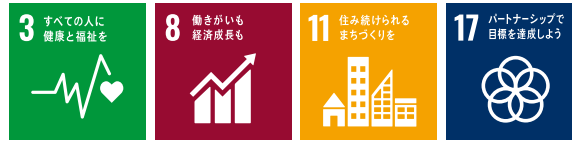
計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町子ども計画	令和7年度	令和11年度

4年後に目指す姿

すべての子どもが安心して暮らし、将来にわたって健やかに成長できるまちを目指します。若者の出会いの場を設け、妊娠・出産・子育てまでを一体的に支援し、町全体で子育てを応援する環境を整えます。

取り組み		指標	
取り組み	取り組み	指標名(単位)	
		令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1	妊産婦への伴走支援	妊産婦の個人面談実施率 (%)	
	母子健康手帳交付時から安心して出産・子育てできる支援体制を整備し、家庭訪問や相談事業を充実させます。		
	主な事業： 訪問指導・育児相談・電話相談(母子保健事業)	—	100
2	健診診査と家庭教育	健康診査の受診率 (%)	
	乳幼児健診の受診率向上を図り、乳幼児の発育発達の確認や保護者への育児支援を充実させます。行政・保育所等・学校が連携し、子育て支援事業や家庭教育講座等を通して親子が学びあう機会を増やします。		
	主な事業： 乳幼児健診(3~4か月児、6か月児、9~10か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児)、2歳児健康相談	—	100
3	安心できる保育体制	保育士等の確保支援策	
	保育士の確保・育成を支援し、質の高い教育・保育を提供します。地域の実情に応じた柔軟な保育環境を整備します。		
	主な事業： 保育士等確保支援事業	検討	実施
4	経済的支援制度強化	保育料無償化	
	生活実態に応じた経済支援を見直し、教育・医療・保育費の負担軽減を図ります。持続可能な制度で家庭を支援します。		
	主な事業： 子育て支援充実事業(保育料・医療費・給食費無償化等)	検討	実施
5	結婚・子育て応援体制	婚活イベント開催回数 (回)	
	町・企業・地域団体が連携し、出会いの場を創出します。結婚・出産・子育てを切れ目なく支援し、町全体で応援する体制を築きます。		
	主な事業： 婚活イベント開催支援事業	0	2

(4) 高齢者支援



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 高齢化の進行と支援体制の整備</p> <p>高齢化が進む中、介護保険や地域包括支援センターを中心に、高齢者の相談や支援体制の整備が進められています。医療・福祉・介護の連携により、在宅での生活を支える取組が行われています。</p>	<p>1 医療・介護の連携強化</p> <p>高齢化の進展に伴い、医療・介護の連携体制のさらなる強化が必要です。関係機関の情報共有や在宅療養支援を進め、継続的な支援体制の構築が求められています。</p>
<p>2 介護予防の推進</p> <p>介護予防教室や健康づくり教室などを開催し、運動や栄養改善を通じた健康維持に取り組んでいます。</p>	<p>2 介護予防の継続参加</p> <p>介護予防教室への新規参加者は増加しているものの、継続的な参加を促す工夫が必要です。運動や交流を継続できる仕組みづくりが課題です。</p>
<p>3 認知症への支援体制</p> <p>認知症サポーター養成講座やオレンジカフェの開催、早期相談体制の整備が行われています。本人や家族への支援を強化し、安心して暮らせる地域づくりを進めています。</p>	<p>3 認知症への理解と支援</p> <p>認知症の早期発見・早期支援体制の充実が求められています。町民・家族・関係機関の協働による支援の拡大が課題です。</p>
<p>4 地域での見守りと交流</p> <p>民生委員や地域住民が中心となり、見守り活動を実施しています。地域での支え合いと交流を通じて、孤立防止や生きがいづくりが進められています。</p>	<p>4 地域見守りの体制強化</p> <p>独居高齢者の増加により、見守りや支援体制の充実が求められています。地域の福祉ネットワークを活用した協働体制の強化が必要です。</p>
<p>5 介護人材の確保</p> <p>介護サービスを担う人材の確保が課題となる中、介護職員の研修支援を進めています。介護職員の技術や能力の向上を推進することにより、質の高い福祉サービス提供を目指しています。</p>	<p>5 介護人材の安定確保</p> <p>介護人材の不足や定着率の課題が続いています。職員の働きやすさを確保し、地域全体で人材を支える環境整備が求められています。</p>
<p>6 高齢者の生きがい、高齢者の居場所の確保</p> <p>シルバー人材センター等との連携による就労支援、高齢者クラブ活動の支援、高齢者サロンへの支援、おたすけボランティア事業により高齢者の生きがいづくりと居場所づくりを推進しています。</p>	<p>6 高齢者の生きがい、高齢者の居場所の確保</p> <p>高齢者クラブとシルバー人材センターともに会員数が減少傾向にある。高齢者の「生きがい」や「居場所」の確保に直結する大きな課題であり、健康状態・経済状況・ライフスタイルの違い等、多様なニーズへの対応が必要です。</p>

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
第10次高鍋町老人保健福祉計画・第9期高鍋町介護保険事業計画	令和6年度	令和8年度

4年後に目指す姿

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護予防と包括的支援を推進します。認知症施策の充実や相談体制の整備を進め、健康づくりや地域交流の取組を強化します。介護人材の確保にも努め、支え合う地域づくりを目指します。

取り組み		指標	
取り組み	取り組み	指標名（単位）	
		令和6年度 （実績値）	令和11年度 （目標値）
1	地域包括ケアの推進	地域包括支援センター 相談件数 （件）	
	地域包括支援センターを中心に、医療・介護・福祉の連携を強化し、切れ目のない支援体制を構築します。高齢者が安心して在宅生活を続けられる地域包括ケアを推進します。		
	主な事業： 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、高齢者住宅改造成事業、緊急通報システム事業	6,320	6,400
2	介護予防と健康づくりの充実	地域介護予防活動支援 （箇所）	
	介護予防教室や健康づくり事業を拡充し、運動・栄養・口腔など多面的な取組を進めます。より多くの高齢者に介護予防教室に参加してもらえるよう啓発を強化し、健康寿命の延伸に取り組めます。		
	主な事業： いきいき百歳体操・元気アップ教室・ノルディックウォーキング教室	20	22
3	認知症施策の充実	認知症初期集中支援 （件）	
	認知症サポーター養成やオレンジカフェの継続を通じて、本人・家族・地域が一体となって支え合う体制を整えます。早期相談支援の強化を図ります。		
	主な事業： 実態把握訪問・認知症サポーター養成講座	191	120
4	地域の見守りと交流支援	ボランティア登録者数 （人）	
	民生委員やボランティア団体など地域住民の協働による見守りや交流を推進します。地域資源の開拓等により、地域で支え合う仕組みを広げます。		
	主な事業： おたすけボランティア事業、高齢者クラブ補助金、高齢者クラブ連合会補助金	42	50
5	介護人材の確保と育成	介護人材育成支援事業補助 金交付件数（件）	
	介護職員の研修支援や職場環境整備を進め、安定した人材確保を図ります。		
	主な事業： 介護人材育成支援事業	1	5
6	高齢者の生きがい、高齢者の居場所の確保	シルバー人材センター会員 登録者数（人）	
	高齢者クラブ活動費補助のほか、シルバー人材センターの健全かつ効果的な運営を支援し、高齢者の生きがい及び社会参加・社会貢献の機会を確保します。		
	主な事業： シルバー人材センター補助金、高齢者クラブ補助金、高齢者クラブ連合会補助金	70	100

(5) 障がい者支援



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 町民理解促進に向けた活動の展開</p> <p>平成28年度から「たか鍋まごころサポーター」を養成し、障がい理解の啓発活動を継続しています。地域での啓発イベントを通じて、町民の関心向上が図られています。</p>	<p>1 障がい理解の浸透不足</p> <p>サポーター活動の定着は進む一方で、町民全体への理解促進には至っていません。地域社会全体で共生の理念を共有するための継続的啓発が必要です。</p>
<p>2 相談支援体制の整備推進</p> <p>重層的支援体制整備事業を庁内で推進し、関係機関との連携を進めています。包括的な相談体制の構築に向け、専門職の配置や情報共有が進みつつあります。</p>	<p>2 支援体制の連携不足</p> <p>関係機関や庁内での情報共有が十分でなく、複合的課題を抱える世帯への支援を行うために、連携体制の強化が課題です。</p>
<p>3 地域生活支援拠点の整備</p> <p>障がい者自立支援協議会のもとで、地域生活支援拠点の整備を継続しています。緊急受け入れや相談機能の確保など、地域全体で支える仕組みづくりが進められています。</p>	<p>3 支援拠点の機能整理の遅れ</p> <p>地域生活支援拠点の4つの機能が明確に整理されておらず、担い手の役割分担や機能充足に向けた調整が必要です。</p>

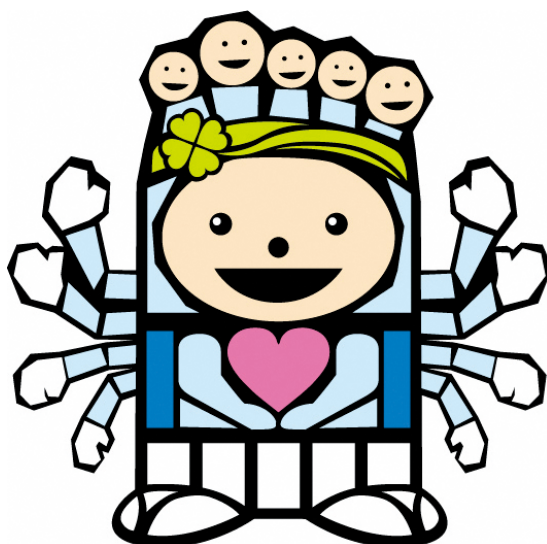
関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
第5次高鍋町障がい者計画	令和6年度	令和10年度
第2次高鍋町地域福祉計画	令和4年度	令和8年度
高鍋町重層的支援体制整備事業実施計画	令和8年度	令和8年度

4年後に目指す姿

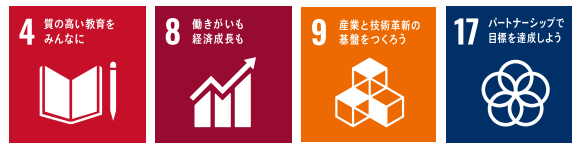
障害者基本法に基づき、すべての人が地域で自分らしく暮らせる共生社会を実現します。町民と行政が連携し、理解促進や相談体制の充実、地域生活支援拠点の整備、住環境の改善、防災支援などを進め、障がいの有無にかかわらず安心して暮らせるまちを目指します。

取り組み	指標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 障がい理解と共生社会の推進 たか鍋まごころサポーターの育成や啓発イベントを充実させ、町民の障がい理解を深めます。学校・企業・地域団体との連携により共生社会づくりを進めます。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	0	2
2 相談支援体制の強化 重層的支援体制整備事業を中心に、庁内横断的な連携を強化します。専門職の育成や相談支援員の配置を進め、切れ目のない支援体制を確立します。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	0	1
3 地域生活支援拠点の充実 地域生活支援拠点を整備し、緊急受入・相談・地域交流・専門支援の機能を整えます。関係機関と協議し、地域資源の有効活用を図ります。 主な事業： 重層的支援体制整備事業	0	3



② 学校教育の充実

(1) 学校教育の充実・学校教育施設の整備



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 国際交流による学びの拡充</p> <p>中学生海外短期留学派遣事業を実施し、海外での交流を通して国際感覚や自立心を育てています。町内でも外国文化を学ぶ機会を増やし、国際理解を深めています。</p>	<p>1 事業継続のための安定財源確保</p> <p>海外派遣事業は寄附金に依存しており、安定的な財源確保が課題です。教育の国際化を継続的に進めるため、町費による予算措置を検討する必要があります。</p>
<p>2 特別支援と多様な学びの推進</p> <p>教育支援委員会やスクールソーシャルワーカーによる支援体制を整え、特別な支援を要する児童生徒への対応を充実させています。関係機関との連携も進んでいます。</p>	<p>2 支援体制の人員確保</p> <p>支援対象児童生徒が増加しており、スクールソーシャルワーカーの増員が必要です。専門人材の確保と連携の強化により、きめ細やかな支援体制の構築が求められます。</p>
<p>3 ICT教育と働き方改革の進展</p> <p>AI型教材「キュビナ」導入により、個別最適な学びを推進しています。ICTを活用した校務の効率化も進み、教職員の働き方改革の取組が拡大しています。</p>	<p>3 ICT教育の格差と負担</p> <p>端末の活用状況に差があり、教員の指導力や負担軽減が課題です。校務支援システムの活用など働き方改革を進め、教育現場の生産性を高める必要があります。</p>
<p>4 教育環境と部活動の地域連携</p> <p>老朽化が進む学校施設の改修を進めるとともに、部活動の地域移行に向けた準備が始まっています。地域団体との連携を通じて、持続的な活動体制を整えています。</p>	<p>4 施設老朽化と部活動の地域移行課題</p> <p>老朽化が進む学校施設の整備が急務です。併せて、地域連携による部活動の移行に向け、受け皿となる地域団体や指導者の確保が課題となっています。</p>
<p>5 不登校児童生徒への支援</p> <p>教育支援センターを拠点に、指導員による学習支援や心のケアを行っています。居場所づくりやオンライン学習の導入により、社会的自立を支える取組が進んでいます。</p>	<p>5 不登校支援と学びの多様化への対応</p> <p>支援センターの利用増により指導員の負担が増えています。個別支援の充実と併せて、オンライン学習や地域支援など多様な学びの場の整備が必要です。</p>

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町教育大綱	令和8年度	令和10年度

4年後に目指す姿

充実した教育環境の中で、子どもが主体的に考え行動できる力を育みます。ICT教育の推進や地域との協働を通じて学ぶ力と人間力を育てるとともに、教職員の働き方改革と部活動の地域移行を進め、持続可能で質の高い教育体制を実現します。

取り組み	指 標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 国際理解教育の推進 中学生海外短期留学派遣事業を継続し、異文化交流を通じて国際感覚と自立心を育てます。安定した財源確保を行い、持続的に実施します。 主な事業： 中学生海外短期留学派遣事業	事業の実施 (回) 1 1	
2 特別支援教育の強化 スクールソーシャルワーカーを増員し、教育支援委員会の機能を充実させます。関係機関との連携により支援体制を強化します。 主な事業： 支援体制強化事業	スクールソーシャル ワーカーの人数 (人) 1 2	
3 ICT活用と働き方改革の推進 AI教材の活用促進と校務支援の効率化を図り、児童生徒の学びを支えるとともに、教職員の業務負担を軽減し、働きやすい職場環境を整えます。 主な事業： ICT活用強化事業	AI型教材「キュビナ」の 1人1ヶ月あたりの解答数 (問) 185 200	
4 教育施設整備と地域連携部活動の推進 老朽化校舎の改修や再編計画を進めるとともに、地域と連携して部活動の地域移行を推進し、持続可能な教育活動の体制を整えます。 主な事業： 教育環境整備事業	教育整備計画の策定 未策定 策定	
5 不登校児童生徒支援の拡充 教育支援センターでの支援を継続し、個別学習支援や居場所づくりを推進します。多様な学びの仕組みを整え、社会的自立を支援します。 主な事業： 個別学習支援推進事業	指導員の人数 (人) 5 5	

(2) 地域と連携した学校教育の推進



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 キャリア教育の推進</p> <p>東西中学校での職場体験や職業講話を通じ、主体性や将来を見据えた学びが進められています。地域の人々が教育活動に関わる機会も広がっています。</p>	<p>1 自立的人材の育成強化</p> <p>時代の変化に対応し、課題を自ら解決する力を育む教育が十分に浸透していません。地域・産業と連携したキャリア教育の深化が必要です。</p>
<p>2 地域連携の教育活動</p> <p>児湯学友団コンソーシアム協議会を中心に、学校・行政・地域が連携して教育環境の充実に努めています。地域を挙げた学びの場づくりが進められています。</p>	<p>2 教育連携体制の強化</p> <p>児湯学友団などの活動は行われているものの、町内の教育機関・団体間の連携が個別的で、広域的な教育ネットワークが弱い状況です。</p>
<p>3 高校魅力化の取組</p> <p>県立高校の特色化支援や進学希望者の誘致を進め、地域内での学びの選択肢を確保しています。教育機関を核とした地域活性化への取組が広がっています。</p>	<p>3 高校魅力化と定着促進</p> <p>県立高校の魅力化支援は進む一方で、進学後の地域定着や地域連携の強化が課題となっています。教育を通じた地域愛の醸成が求められます。</p>

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町教育大綱	令和8年度	令和10年度



4年後に目指す姿

地域と連携した取り組みや文化を教育に活かし、地域全体で子どもを育む環境を整えます。県立高校の特色化や魅力化を通じて、進学・定着・活力の好循環を生み出します。

取り組み		指標	
取り組み	取り組み	指標名 (単位)	
		令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1	キャリア教育と探究学習の推進	キャリアデザイン作成割合 (%)	
	地域企業・団体と連携した職場体験や課題探究活動を強化し、地域をフィールドに学ぶ教育を推進します。自立して社会に貢献できる人材を育成します。		
	主な事業： キャリア教育推進事業	—	100
2	地域教育ネットワークの構築	町内県立高校の合格者数 (人)	
	児湯学友団コンソーシアム協議会を中心に、教育機関・行政・地域団体が連携し、情報共有や人材交流の仕組みを整備します。持続可能な教育連携体制を構築します。		
	主な事業： 児湯学友団コンソーシアムプロジェクト	286	286
3	高校魅力化と地域連携の強化	高鍋高校への新たな支援策の検討・実施	
	県立高校の特色化や地域連携授業を支援し、地域への進学・就職・定着を促進します。教育を地域活性化の軸として位置付け、「文教の城下町」の再生を図ります。		
	主な事業： 町内県立高校支援事業	—	支援実施



(3) 歴史を活かした「人づくり」の推進



現状と課題

現状

1 歴史教育教材の充実

これまで、地域の先人を学ぶための教材として社会科副読本や「新明倫の教え」が作成されており、地域の歴史や偉人の精神の教育に活用されています。

2 先人に学ぶ歴史教育

石井十次など多くの先人を輩出しており、社会科副読本や「新明倫の教え」を用いた学習を行っています。地域の歴史や偉人の精神を教育に取り入れる取組が進んでいます。

3 先人に学ぶキャリア教育

高鍋町出身の偉人たちの志や、藩校「明倫堂」に息づく教育の精神を、次代を担う子どもたちへ受け継いでいく教育が行われています。

課題

1 歴史教育教材の形骸化

社会科副読本は昭和47年に初版が発行され、それ以降は現状に合わせて改訂を行っています。GIGAスクール構想による1人1台端末に対応した新しい歴史教材が必要です。

2 郷土教育の浸透不足

児童生徒の多くが町の先人の業績を十分に知らず、地域の誇りを育む教育が定着していません。郷土教育の体系化が求められます。

3 起業家精神の育成強化

グローバル化や価値観の多様化が進むなか、自ら課題を見出し、柔軟に対応できる力を育む教育が求められています。



4年後に目指す姿

高鍋藩第七代藩主秋月種茂が創設した藩校明倫堂の精神を受け継ぎ、「文教の城下町」としての誇りを次代に伝えます。地域の先人たちの業績を学び、郷土愛を育てるとともに、これを基盤としたキャリア教育を充実させます。

取り組み	指標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 時代に対応した歴史教育教材の作成 高鍋の先人の業績や藩校明倫堂に関する新しい歴史教材を作成します。作成にあたっては、デジタル時代に対応するため、デジタルコンテンツを用いて作成し、「見て理解できる」分かりやすい教材を作成します。 主な事業： 先人教育強化事業	0	15
2 郷土の偉人を学ぶ教育推進 社会科副読本や地域教材を活用し、先人の志や歴史を学ぶ機会を拡充します。学校・地域連携による郷土学習を体系化し、誇りあるまちづくりを進めます。 主な事業： 先人教育強化事業	20.0	100
3 先人たちの生き方に学ぶキャリア教育 明倫堂が輩出した先人たちの業績に学ぶための、起業家教育・キャリア教育のプログラムを作成します。作成したプログラムは総合的な学習の時間で活用します。 主な事業： 先人教育強化事業	未作成	作成



③ 社会教育の推進

(1) 社会教育施設の整備充実



現状と課題

現 状	課 題
<p>1 中央公民館の充実</p> <p>中央公民館は学びと交流の拠点として機能しています。講座や展示会、文化イベントが開催され、生涯学習の推進と文化振興に寄与しています。</p>	<p>1 老朽化施設の改修</p> <p>中央公民館の老朽化が進み、施設の更新が必要です。安全性と快適性を確保し、利用促進を図ることが課題です。</p>
<p>2 社会体育施設の整備・充実</p> <p>学校施設を活用し、文化サークルやスポーツ教室が活発に行われています。体育館や野球場では県・九州規模の各種スポーツ大会が開催されており、野球場ではスポーツキャンプを受け入れています。</p>	<p>2 体育施設の整備・充実</p> <p>大会やスポーツキャンプを行うに当たり、利用者は設備の整っている施設を選ぶため、施設設備の充実が必要です。国民スポーツ大会終了後の町民利用を見据えた施設整備が必要です。</p>
<p>3 有形文化財の活用</p> <p>町内の有形文化財は、国や県の指定登録を受けて保存されており、まちの文化的資産として位置付けられています。活用を通じた観光や交流の可能性が期待されています。</p>	<p>3 有形文化財の活用問題</p> <p>旧鈴木馬左也別邸や黒水家住宅は、文化・観光・交流拠点としての機能強化が求められています。</p>
<p>4 デジタル活用による学びの拡充</p> <p>図書館や歴史総合資料館において、デジタルアーカイブや電子資料の整備が進められています。新しい学びの形が広がり、多様なニーズに対応しています。</p>	<p>4 デジタル学習環境の整備</p> <p>ICT 機器やネットワーク環境の整備が不十分であるため、デジタル技術を活かした学習環境の充実が求められています。</p>

関連する個別計画等

計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町公共施設個別施設計画	令和3年度	令和12年度

4年後に目指す姿

中央公民館や歴史総合資料館、美術館、図書館などの社会教育施設を充実させ、町民が学びや文化に親しみながら交流できる環境を整えます。明倫堂に象徴される「文教のまち高鍋」の伝統を継承し、子どもから高齢者までが主体的に学び、地域の誇りを育むまちを目指します。

取り組み	指標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 中央公民館の整備充実 中央公民館の計画的な改修と機能向上を進めます。バリアフリー化や省エネ化を図り、快適で安全な学びの拠点を整備します。 主な事業： 社会教育施設整備事業	中央公民館の改修・整備件数 (件) 0 1	
2 社会体育施設の整備・充実 令和9年度国民スポーツ大会に向けた整備の充実・人的確保・運営マニュアルの整備等を行います。令和8年度に国スポのリハーサル大会を開催します。 主な事業： 令和9年度日本のひなた宮崎国スポ開催	社会体育施設の利用者数 (人) 188,162 190,000	
3 旧鈴木馬左也別邸・黒水家住宅の保存活用 旧鈴木馬左也別邸や黒水家住宅について文化・観光・交流の拠点としての利活用の可能性を検討します。建物の現状や歴史的価値を把握し、保全や展示活用の方向性を整理します。 主な事業： 有形文化財保存・活用計画事業	利活用施策の検討 - 活用方針決定	
4 ICTを活かした学習環境整備 図書館や歴史総合資料館における電子資料やオンライン講座を拡充し、誰もが時間や場所を問わず学べる環境を整えます。情報発信力の強化も図ります。 主な事業： 古文書データ整備事業	電子資料提供数 (件) 10 15	



(2) 地域・スポーツ・文化活動支援



現状と課題

現 状
<p>1 生涯学習の推進</p> <p>中央公民館や図書館、美術館などの社会教育施設は、町民の学びと交流の場として幅広く活用されています。展示会や講座など多様な活動が行われ、文化振興と生涯学習の拠点となっています。</p>
<p>2 文化財と地域資源の活用</p> <p>文教のまちとしての歴史を活かし、舞鶴公園や高鍋城址、美術館などを中心に学びと交流の場が形成されています。秋月種茂ゆかりの史跡や、アカウミガメが産卵する蚊口浜など、自然と文化が調和した地域資源が町の誇りとなっています。</p>
<p>3 スポーツ活動の支援</p> <p>体育館や運動公園などの施設が整備され、町民の健康づくりと世代間交流が進んでいます。スポーツ・レクリエーションや教室も活発に開催され、地域の活力を高める場となっています。</p>
<p>4 地域コミュニティ活動の広がり</p> <p>地域の自治会や団体が中心となり、清掃活動や防災訓練、地域行事などを実施しています。伝統神楽や高鍋城灯籠まつりなど地域文化を通じて、町民同士の絆と地域の誇りが育まれています。</p>
<p>5 アーティストによる地域振興</p> <p>地域おこし協力隊員としてアーティストを受け入れ、アーティスト・イン・レジデンスの要素を取り入れた取り組みを進めています。</p>

課 題
<p>1 新規利用者の活用促進</p> <p>新規利用者に活用してもらうために、各施設のイベントや講座の情報発信が必要です。各施設の多目的利用や若年層の利用促進も求められています。</p>
<p>2 伝統・自然文化の継承体制の脆弱化</p> <p>高鍋神楽や嶋野棒踊りなど伝統文化の担い手が減少しています。さらに、アカウミガメが産卵する沿岸地域などの自然資源を次世代に継承する仕組みづくりが継続して必要です。</p>
<p>3 スポーツ指導者の確保</p> <p>指導者の高齢化が進み、後継者の不足が課題です。若い世代の担い手育成と人材の継続的な確保が必要です。</p>
<p>4 地域資源の観光・学習連携の不足</p> <p>美術館や舞鶴公園、蚊口浜などの地域資源が個別に活用されており、教育・観光との連携が十分ではありません。総合的なまちの魅力発信が求められます。</p>
<p>5 情報発信力不足</p> <p>美術館の企画展や文化協会による発表会など、町内で多彩な文化・芸術活動が行われていますが町外へ向けての情報発信力は十分とはいえません。</p>

関連する個別計画等

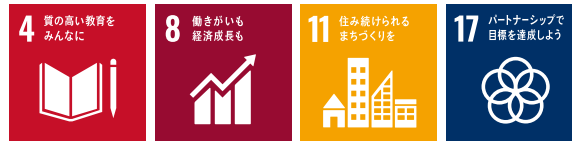
計画等の名称	開始年度	終了年度
高鍋町子ども読書活動推進計画	令和5年度	令和9年度

4年後に目指す姿

高鍋神楽や嶋野棒踊りなどの伝統文化を継承し、アカウミガメが訪れる沿岸地域の自然環境を守りながら、文化と自然が共に息づくまちを目指します。美術館や舞鶴公園を拠点に、スポーツ・芸術・学びを通じて交流が生まれる活力ある地域を実現します。

取り組み		指標	
取り組み	取り組み	指標名(単位)	
		令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1	社会教育施設の利用拡充	中央公民館の利用人数 (人)	
	町民に愛され、活用される施設を目指し、住民ニーズに合ったイベントを各施設で開催します。ITセンターを活用したeスポーツなどの講座を開催し、若年層の利用促進を図ります。		
	主な事業： 中央公民館講座	42,721	43,000
2	伝統・自然文化の継承と環境教育の推進	文化・芸術・伝統行事の 環境学習開催回数 (回)	
	高鍋神楽や嶋野棒踊りなど地域の伝統行事の継承を支援するとともに、アカウミガメが産卵する沿岸地域や希少生物が生息する高鍋湿原を環境学習の場として活用し、自然と文化の共生を学ぶ取組を進めます。		
	主な事業： 伝統文化継承事業	5	10
3	スポーツを通じた健康・交流促進	スポーツ大会参加者数 (人)	
	スポーツ協会やスポーツ少年団等の支援を通じ、世代を超えて健康づくりと交流を推進します。指導者の育成や施設整備により、誰もがスポーツを楽しめる環境を整えます。		
	主な事業： 各種スポーツ大会開催	496	600
4	文化・芸術と観光の融合促進	美術館入館者数(3年平均) (人)	
	美術館の展示や舞鶴公園でのイベントなどを連携させ、アートと地域観光を融合したまちの魅力を発信します。地域資源を活かした創造的な取組を支援します。		
	主な事業： 美術館特別展・企画展開催事業	18,202	18,500
5	協力隊アーティストによる情報発信	地域おこし協力隊 アーティストの人数(人)	
	地域おこし協力隊アーティストそれぞれの芸術活動をSNSで発信してもらい、広報クリエイターの役割を担ってもらうことで、芸術を活かしたまちの情報発信の強化を図ります。		
	主な事業： アーティスト・イン・レジデンス	0	4

(3) 歴史を活かした「まちづくり」の推進



現状と課題

現 状

1 歴史資源の保存活用

高鍋城址公園や秋月墓地、持田古墳群などの文化財が地域の象徴として親しまれています。保存・整備が進められ、観光や学習の拠点としても活用が広がっています。

2 文教のまちの伝統

藩校明倫堂をはじめとする文教の伝統が息づき、図書館や資料館などの学習拠点が整備されています。地域全体で教育文化を支える環境が整っています。

3 遺跡・古墳の保存

町内には持田古墳群など多くの遺跡が点在しており、古代人の息吹を感じる学びの場となっています。文化財指定や案内板整備など、保存への意識も高まっています。

4 城下町景観の維持

商店街の外観改修支援や町家・古民家の再生が行われ、歴史的な町並みの維持に取り組んでいます。伝統的建築を生かした地域景観づくりが進んでいます。

課 題

1 保存体制の脆弱化

文化財や史跡の維持管理は人手や資金の不足が課題です。行政と町民が協働し、持続的に保全できる仕組みの整備が求められています。

2 後継人材の育成不足

観光ボランティアや文化解説者の高齢化が進んでいます。若い世代が地域の歴史に関心を持ち、活動に参加できる環境づくりが必要です。

3 歴史資源の活用不足

遺跡や建造物、文教施設が個別に存在し、面的なつながりが弱い状況です。周遊ルートや学習コースとして連携を図ることが課題です。

4 景観形成の課題

新旧建物の調和が十分でなく、城下町らしい統一感のある景観形成が進んでいません。町民参加による景観意識の醸成が必要です。



4年後に目指す姿

高鍋町の歴史や文化、遺跡・古墳などの貴重な資源を守り活かしながら、城下町の風格と文化の薫るまちを再生します。町民・教育機関・行政が協働し、学びと誇りを育む環境を整え、歴史を次世代へとつなげる魅力ある地域を目指します。

取り組み	指標	
	令和6年度 (実績値)	令和11年度 (目標値)
1 歴史・文化資源の継承 史跡や文化財の保存・整備を進め、町民や専門家との協働で次世代へと継承します。保全と活用の両立を図り、持続可能な体制を築きます。 主な事業： 文化財保存活用地域計画策定事業	指定文化財・史跡の 保存整備件数 (件)	5 5
2 地域人材の育成支援 ガイドや文化解説者の育成を進め、学校・地域団体と連携して若年層の関心を高めます。地域ぐるみで学び、伝える文化を広げます。 主な事業： ボランティアガイド養成講座	歴史・文化ガイド養成者数 (人)	2 2
3 文化資源の観光活用 高鍋城址や明倫堂、古墳群などを連携させた周遊ルートを整備します。体験学習などにより、交流人口を拡大します。 主な事業： 文化財公開活用事業	歴史・文化資源を巡る 観光ルート数 (ルート)	0 5
4 景観と街並み再生 町家・古民家の再生支援や景観形成事業を推進し、歴史的建築と調和した町並みづくりを進めます。官民一体で城下町の魅力を再構築します。 主な事業： 魅力ある商店街形成支援事業	町家・古民家再生件数 (件)	0 1

